

松竹キネマ蒲田撮影所
開設100周年

第

8

回

蒲田映画祭

映画は世代を超えて



水島あやめ ～蒲田を愛した女性初の映画脚本家～

9/18 (金)
上映①



水島あやめ紹介映像 (約15分)

女性初の脚本家。大正14年春に日本女子大学を卒業、松竹蒲田脚本部に入る。城戸四郎所長の直接指導を受け、蒲田脚本部で唯一人の女性脚本家として活躍。28本の原作脚本作品が公開された。弁士・佐々木亜希子の語りでご紹介。



弁士：佐々木亜希子



〈上映映画〉明け行く空 (無声映画)

監督：斎藤寅次郎 脚本：水島あやめ
出演：川田芳子、高尾光子、河村黎吉

昭和4年公開。父の死で離ればなれになった母と娘。娘を想う母、母を慕う娘の情愛を描く母ものとしてヒット。喜劇王・斎藤寅次郎24歳、水島あやめ25歳の時の作品。新派調にドタバタ喜劇の要素がちりばめられた「涙あり、笑いあり」の佳作。



エレクトーン：永田雅代

1929年 松竹蒲田作品 (70分)

〈解説〉水島あやめが活躍した蒲田の時代 (約20分)

水島あやめ研究家が語る彼女がこよなく愛した蒲田の日々。

解説：因幡純雄

会場

大田区民ホール・アブリコ(地下小ホール)
15:00開場

※おひとり1,000円